

海洋プラスチック問題と 日本の貢献

ジャパントイムズ公開座談会

入場
無料

昨今、海洋プラスチック問題が及ぼす生態系への影響が世界的な関心を集めています。多くのプラスチック製品を生産、消費している日本にとっても無関係ではありません。今年日本で開催されるG20サミットでも、この問題への対応が協議される予定で、議長国として議論の取りまとめが期待されています。海洋国家であるわが国が、国際的な課題解決のために、貢献できることは何か。本座談会を通じ、広く現状課題を共有し、併せてこの分野での日本の貢献について、ジャパントイムズ紙・Webサイトを通じ世界に向け発信して参ります。

2019年

4月1日(月)

時間

14:30-16:00

(受付開始：14:00)

会場

六本木アカデミーヒルズ
スカイスタジオ

東京都港区六本木6-10-1
六本木ヒルズ森タワー49F

お申し込み

ご入場には事前のお申し込みが必要です。(入場無料)
下記URLまたは右のQRコードのお申し込みページよりお申し込みください。

<http://jtimes.jp/zadankai2019>



プログラム

14:00	開場・受付開始	
14:30	開会・主催者挨拶	堤 文晴（ジャパンタイムズ 代表取締役社長）
14:35	座談会	「海洋プラスチック問題と日本の貢献」 モデレーター：高村 ゆかり（東京大学国際高等研究所 サステナビリティ学連携研究機構 教授） パネリスト：土居 健太郎（環境省 環境再生・資源循環局 総務課長） 柳田 康一（花王株式会社 ESG部門副統括） 富樫 英治（株式会社エフピコ 環境対策室 ジェネラルマネージャー）
16:00	閉会	

※予告なくプログラムが一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

登壇者プロフィール



土居 健太郎 (Kentaro Doi)

環境省 環境再生・資源循環局総務課長

1990年4月 厚生省入省
2014年7月 環境省地球環境局地球温暖化対策課長
2015年10月 環境省福島環境事務所所長
2018年4月 環境省環境再生・資源循環局総務課長



柳田 康一 (Koichi Yanagida)

花王株式会社 ESG部門 副統括

1985年花王株式会社に入社、加工・プロセス開発研究所室長、包装容器開発研究所室長、環境・安全推進本部部長、サステナビリティ推進部長を経て2018年より現職。
プラント設計、容器設計、ユニバーサルデザイン、レスポンシブルケアなどに従事。



富樫 英治 (Eiji Togashi)

株式会社エフピコ 環境対策室 ジェネラルマネージャー

エフピコ方式のリサイクルの拡大に向け、官公庁等への情報発信及び消費者へのリサイクル推進活動に取り組む。
(略歴) 平成12年4月、株式会社エフピコ入社、営業企画部配属。平成14年7月、総務部配属。平成15年7月、人事部兼務。平成19年4月、人事部チーフマネージャー就任。平成22年10月、経営企画部配属シニアマネージャー。平成24年4月、環境対策室配属シニアマネージャー。平成24年8月、環境対策室ジェネラルマネージャー就任。現任。



高村 ゆかり (Yukari Takamura)

東京大学国際高等研究所サステナビリティ学研究連携機構 教授

島根県生まれ。専門は国際法・環境法。京都大学法学部卒業。一橋大学大学院法学研究科博士課程単位修得退学。静岡大学助教授、龍谷大学教授、名古屋大学大学院教授などを経て現職。国際環境条約に関わる法的問題などを研究対象とする。日本学術会議会員。パリ協定の長期低排出戦略を作成するパリ協定長期成長戦略懇談会、環境省プラスチック資源循環戦略小委員会、アジア開発銀行の気候変動と持続可能な発展に関する諮問グループの委員なども務める。

Japan Times ESG推進コンソーシアム

企業における環境・社会・ガバナンスへの積極的な取り組みを世界に向け発信します。

今、投資家は企業の売上や利益といった財務情報だけでなく、環境・社会・ガバナンス(ESG)への取組みに大きな関心を寄せています。しかしながら、これら ESG 情報を重視する海外投資家にとって、日本企業の情報開示は十分とは言えず、特に英文での情報は質・量ともに不足しています。本コンソーシアムは、ジャパンタイムズの持つ英文発信力を活用し、日本企業と海外投資家との対話の質を高め、企業価値向上に貢献してまいります。